

—【成分・分量】100g中—

ジクロフェナクナトリウム 1g  
 l-メントール 5g  
 トコフェロール酢酸エステル 100mg  
 ノナン酸パニルリアミド 12mg  
 ノナン酸ベンジルエステル 10mg  
 添加物として、グリチルレチン酸、  
 ミリスチン酸イソプロピル、プロ  
 ピレングリコール、ジプロピレング  
 リコール、乳酸、エタノールを含む

—【用法・用量】—

1日3~4回、適量を患部に塗布する。ただし、塗布部位をラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わない。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しない

〈用法・用量に関連する注意〉

- 定められた用法・用量を厳守する
- 本剤は、痛みやはれ等の原因となっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がなおる場合だけ使用する
- 本剤は外用にのみ使用し、内服しない
- 1週間あたり50gを超えて使用しない
- 目に入らないように注意する。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には、眼科医の診察を受ける
- 使用部位に他の外用剤を併用しない
- 通気性の悪いもの(ラップフィルム、矯正ベルト等)で使用部位を覆い、密封状態にしない

- 皮膚の特に弱い方は、同じ所に続けて使用しない
- スポーツや入浴等、汗をかき前・後に使用した場合、ヒリヒリとした刺激、痛みや熱感が増すことがあります。これらの症状が強い場合は、石けんで洗い流すと緩和します

使用に際して、この説明書  
 を必ず読むこと。また必  
 要なときに読めるよう大  
 切に保管すること

—【効能・効果】—

肩こりに伴う肩の痛み、腰痛、関節痛、筋肉痛、腱鞘炎(手・首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

【保管及び取扱い上の注意】

- 1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所(冷暗所)にキャップをしっかりとめて箱に入れて立てて保管する
  - 2) 火気に近づけない
  - 3) 小児の手の届かない所に保管する
  - 4) 他の容器に入れ替えない(誤用の原因になったり品質が変わる)
  - 5) 使用期限をすぎた製品は使用しない。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用する
- キャップをしっかりとめないと液がもれることがある
  - 衣類に付着した場合には、各衣類の洗濯表示に従って、すみやかに洗う

製品の問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

▼あつらいいな/をカタチにする

発売元 小林製薬株式会社  
 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室

0120-5884-01  
 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元 小林製薬株式会社  
 〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3

税 控除 対象

火気厳禁 第一石油類 危険等級Ⅱ  
 エタノール含有物

外用鎮痛  
 消炎剤

販売名:

アンメルツ  
 ゴールドEX NEO

External Anti-Inflammatory  
 /Analgesic

押して  
 開ける

第2類  
 医薬品

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

- (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)
1. 次人は使用しない (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2)ぜんそくを起こしたことがある人 (3)妊婦又は妊娠していると思われる人 (4)15才未満の小児
  2. 次の部位には使用しない (1)目の周囲、粘膜等 (2)皮膚の弱い部位(顔、頭、わきの下等) (3)温疹、かぶれ、傷口 (4)みずむし・たむし等又は化膿している患部
  3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎剤を使用しない
  4. 長期連用しない



相談すること

1. 次の人には使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談する (1)医師の治療を受けている人 (2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (3)次の医薬品の投与を受けている人: ニューキノロン系抗菌剤
2. 使用中又は使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談する

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮膚のあれ、落屑(フケ、アカ)のような皮膚のはがれ、水疱、色素沈着
症状の名称	症 状
ショック アナフィ ラキシー	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
接触皮膚 炎、光線 過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身にひろがることもある。また、日光があつた部位に症状があらわれたり、悪化することがある

3. 5~6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談する